

# 教育委員会事務局教育部の「運営方針と目標」（平成 23 年度）

教育部長 藤川 雅志

教育部生涯学習担当部長 清水 富美夫

## 1 部の使命・目標に関する認識

### 部の使命・目標

いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちづくり、創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちづくりを基本目標として、学校教育では、「豊かな心を持ち、心身ともに健康で、たくましく生きる『人間力』と『社会力』のある児童・生徒の育成」を指導目標とし、生涯学習では、いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」学ぶことができる生涯学習社会の構築を推進目標としています。

### 各課の役割

教育部は、総務課、学務課、指導課、生涯学習課、スポーツ振興課、総合スポーツセンター建設推進室、国体推進室で構成する事務局と、社会教育会館、図書館などの所管施設で構成され、それぞれ、○教育委員会会議、委員会内人事・予算等の総合調整、川上郷自然の村管理運営、教育施設の営繕・維持管理、○通学区域、学級編制、学校給食・保健運営、教育相談、就学相談、○学校の教育指導の援助、教職員人事、教科書採択、○生涯学習の推進、文化財保護、社会教育団体の育成等、○生涯スポーツの普及・振興、スポーツ施設の管理運営、○社会教育会館の管理運営、○図書館での資料収集・貸出、読書活動の推進などの役割を担っています。

## 2 部の経営資源（平成 23 年 4 月 1 日現在）

### ① 職員数

#### 職員数

教育委員会事務局等職員 188 人 他団体からの派遣職員 3 人 計 191 人

#### 職員比率（正規職員）

教育委員会事務局 191 人／市職員 1,040 人 職員比率 約 18.4%

### ② 予算規模

#### 予算規模

平成 23 年度教育委員会事務局予算額 一般会計 4,477,857,000 円

そのうち人件費を除く事業費の予算額 一般会計 3,998,884,000 円

## 3 部の実施方針及び個別事業の目標等

### 実施方針

・コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実・発展と教育ビジョン 2022（仮称）の策定

教育ビジョンに基づき、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校 7 学園において、子どもたちが安心して質の高い教育を受けられるようにします。コミュニティ・スクールの推進にあたっては、市民にとっての魅力ある市立学校となるよう、保護者、地域住民の積極的な参画を図りながら、自律的、主体

的な学校運営を進めます。あわせて、小・中一貫教育校の教育的な成果や教育活動等の必要な情報が、学校内はもとより、学校と保護者や地域住民の間で共有されるよう努めます。

また、教育ビジョンについては、三鷹教育・子育て研究所の提言を踏まえ、第4次基本計画の策定との整合を図りながら多様な市民参加を行い、新たに教育ビジョン2022（仮称）を策定します。

#### ・教育支援の充実と教育支援プラン2022（仮称）の策定

教育支援の充実に向けて、個別指導計画・個別の教育支援計画の適切な作成・活用が行われるよう、教育支援推進委員会を開催し、各校の具体的な取り組み状況を把握するとともに、教育支援の充実に向けた課題の検討・検証を行います。また、スクールソーシャルワーカーによる教育と福祉、保健、医療等関係機関との密接な連携を進めます。

また、現行の教育支援プラン（特別支援教育推進計画）の考え方を基礎に、国等の動向も踏まえ、教育支援プラン2022（仮称）を策定します。策定にあたっては、教育ビジョン2022（仮称）との整合を図り、ビジョンに位置付けた理念や基本的な考え方に基づく具体的な実行計画となるよう策定を進めるとともに、教育支援推進委員会での検討や市民参加による効果的な策定を進めます。

#### ・安全で快適な教育環境の充実

児童・生徒及び教職員が安全に安心して快適に学校生活を送れるように、校舎等の建替え、耐震補強工事、学校空調設備整備事業を計画的に推進するとともに、地域の防災拠点としての利活用を進めます。また、ヒートアイランド現象の緩和、砂飛散防止、緑化推進等のため、学校校庭の芝生化を推進します。なお、これらの事業実施にあたっては、国・都からの補助・助成制度を活用し、財源確保に努めます。

さらに、教育ネットワークの利活用と運用管理体制の整備により、教員の業務の効率化と情報セキュリティの向上を図るとともに、学校・家庭・地域の情報共有を推進します。

#### ・生涯学習施策の充実とみたか生涯学習プラン2022（仮称）の策定

「大沢の里水車経営農家」の効果的・効率的な管理運営を進めるとともに、大沢二丁目古民家（仮称）の復原に向けた取り組みなど、地域文化財の保存・活用を図るためエコミュージアム事業を推進します。また、市民芸術文化活動の普及・奨励、家庭教育支援事業など生涯学習施策の充実を図ります。

また、新たな生涯学習プランの策定に向けて、第4次基本計画の策定との整合を図りながら、市民参加により、みたか生涯学習プラン2022（仮称）を策定します。

#### ・市民スポーツ活動の推進

市民の健康・体力の増進を図り、「スポーツを生涯の友に」を目標に、豊かなスポーツライフを推進するために、地域スポーツ活動の振興と組織づくり、総合型地域スポーツクラブの拡充、指導者の養成と充実、施設の円滑な運営と整備の充実等に取り組みます。また、平成25年の「スポーツ祭東京2013」（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）の開催に向け、平成22年8月に設置した「スポーツ祭東京2013三鷹市実行委員会」を中心に、関係団体等と連携を図りながら開催に向けた準備を進めます。

- ・健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）

都市再生ビジョンに基づき策定した「市民センター周辺地区整備基本プラン」における「健康・スポーツの拠点」、「生涯学習の拠点」の整備に向けた取り組みを推進します。平成23年度は、実施設計に着手し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を通じて、より具体的な検討を進めます。

- ・南部図書館（仮称）の整備と効率的な図書館の管理・運営

新川・中原地域に整備する予定の南部図書館（仮称）について、公益財団法人アジア・アフリカ文化財団との協働により、特色ある地域図書館としての整備に向けた取り組みを進めます。平成23年度は、市民会議を設置し、基本プランと設計等に取り組みます。また、引き続き、効率的な図書館の管理・運営に取り組みます。図書館の管理・運営については、ICTタグの効果的な活用を図り、市民の資料・情報の要望に迅速かつ的確に対応するサービスの向上を目指します。同時に、効率的な図書館の管理運営形態について引き続き見直しを行います。

また、みたか子ども読書プラン2022（仮称）については、6月に三鷹市立図書館協議会からの答申を受け、骨格案、素案を作成し、パブリックコメントを経て策定します。

#### 個別事業とその目標（個別事業の掲載は、重点課題順となっています。）

- 1 教育ビジョン2022（仮称）の策定（指導課・総務課）〈「施政方針」掲載事業〉

新たな教育ビジョンの策定に向けた「三鷹教育・子育て研究所」の提言等を踏まえ、多様な市民参加を図りながら教育ビジョン2022（仮称）を策定します。策定にあたっては、第4次基本計画の策定スケジュール及び市民参加手法との整合を図り、効果的・効率的な策定作業を進めます。

（目標指標：第4次基本計画の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により、教育ビジョン2022（仮称）を策定します。）

- 2 コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展（指導課）

〈「施政方針」掲載事業〉

義務教育9年間の一貫カリキュラムに基づき、小・中一貫教育校7学園が特色ある教育を展開し、基礎・基本の確実な定着と個性・能力の伸長、児童・生徒の健全育成を図り、「人間力」と「社会力」を兼ね備えた子どもを育成します。

また、保護者や地域住民が学校運営に積極的に参画し、学校運営を支援する「コミュニティ・スクール」を基盤とした学校づくりの充実・発展を目指し、コミュニティ・スクール委員会の機能の充実を図るとともに、小・中一貫教育の理念を継承・発展するための地域人財の養成・育成に努めます。

（目標指標：すべての学園のコミュニティ・スクール委員会を中心に実施する学園評価（検証）をもとに、各学園が小・中一貫教育の充実と特色ある教育を推進します。また、保護者や地域住民が積極的に学校運営に参画し、学校教育を支援する「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育の充実を図ります。）

- 3 健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）

（総合スポーツセンター建設推進室・社会教育会館）〈「施政方針」掲載事業〉

都市再生ビジョンに基づき策定した「市民センター周辺地区整備基本プラン」

における「健康・スポーツの拠点」、「生涯学習の拠点」の整備に向けた取り組みを推進します。平成 23 年度は、実施設計に着手し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を通じて、施設の機能連携や管理運営の方法など、より具体的な検討を進めます。

(目標指標：市長部局と連携し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、実施設計など事業推進に取り組みます。)

#### 4 三鷹中央学園第三小学校、鷹南学園第五中学校体育館の建替え（総務課）

〔「施政方針」掲載事業〕

校舎等の建替えにより、耐震性能の確保及び地域防災拠点としての安全性を高め、教育環境の整備を行います。

第三小学校校舎の建替えについては、前年度に行った実施設計に基づき、新校舎の建設工事に着手します。なお、建設期間中は既存校舎を使用し、新校舎竣工・移転後、既存校舎の解体を行います。

第五中学校体育館の建替えについては、前年度に引き続き工事を行い、工事の完了とすみやかな利用開始を目指します。

これらの事業実施にあたっては、国・都からの補助・助成制度を活用し、財源確保に努めます。

(目標指標：第三小学校については、新校舎の建設工事に取り組みます。第五中学校体育館の建替えについては、工事の完了とすみやかな利用開始を目指します。)

#### 5 学校空調設備整備事業の実施（総務課）〔「施政方針」掲載事業〕

夏季の猛暑対策として、児童・生徒の良好な学習環境を維持し、適切な教育活動を実施するため、市立小・中学校の普通教室、特別教室等に空調設備を整備します。整備にあたっては、学校の授業への影響を最小限にするよう、他の工事の実施時期と調整を行います。

なお、これらの事業実施にあたっては、国・都からの補助・助成制度を活用し、財源確保に努めます。

(目標指標：学校空調整備事業に係る実施設計及び整備工事に計画的に取り組み、11校に整備します。)

#### 6 南部図書館（仮称）の整備の推進（図書館）〔「施政方針」掲載事業〕

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団との協働により、南部図書館（仮称）の整備に向けて取り組みます。具体的には、同財団と南部図書館（仮称）の整備のための協議が整った後に、南部図書館（仮称）の整備に向けた施設、機能、管理運営形態等のあり方を検討する市民会議を設置し、新しい図書館づくりに向けた基本プラン及び設計等に取り組みます。

(目標指標：南部図書館(仮称)について、市民会議等による検討を行い、基本プラン及び設計等の取り組みを進めます。)

#### 7 学校耐震補強工事の実施（総務課）〔「施政方針」掲載事業〕

第二小学校校舎及び体育館、羽沢小学校校舎の耐震補強工事を実施します。また、平成 7 年度から平成 12 年度に行った耐震診断結果において耐震補強工事を要しないとされた学校体育館について、その後の老朽化による影響が考えられることや、診断基準が改定されたことから、体育館耐震診断内容再調査業務を実施します。

なお、これらの事業実施にあたっては、国・都からの補助・助成制度を活用し、財源確保に努めます。

(目標指標：平成 23 年度末に市立小中学校の耐震化率 92.9%を目指します。また、体育館耐震診断内容再調査業務を 4 校で実施します。)

- 8 みたか生涯学習プラン 2022 (仮称) の策定 (生涯学習課) (「施政方針」掲載事業)  
市民の生涯学習に関する意向調査の実施結果及び社会教育委員会議から提出された「これからの生涯学習が目指すもの～生涯学習計画改定に向けての意見～」を踏まえ、新たな生涯学習プランの策定に向けて、第 4 次基本計画の策定との整合を図りながら、市民参加により、みたか生涯学習プラン 2022 (仮称) を策定します。  
(目標指標：第 4 次基本計画の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により、みたか生涯学習プラン 2022 (仮称) を策定します。)
- 9 スポーツ祭東京 2013 (東京国体) の推進 (国体推進室) (「施政方針」掲載事業)  
平成 25 年に開催する「スポーツ祭東京 2013」(第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会)に向けて、平成 22 年 8 月に設置した「スポーツ祭東京 2013 三鷹市実行委員会」を中心に、関係団体等との連携を図りながら、運営体制のさらなる強化のために「東京国体三鷹市開催総合実施計画書 (仮称)」(案)の作成や市民の意識啓発など、大会開催に向けた準備を進めます。  
(目標指標：「総務・広報」、「競技・式典」、「宿泊・衛生」、「輸送・警備」の 4 つの専門委員会を設立し、「東京国体三鷹市開催総合実施計画書 (仮称)」(案)を作成し、運営体制のさらなる強化を図ります。)
- 10 学校給食の充実と効率的運営 (学務課) (「施政方針」掲載事業)  
学校給食の充実と効率的運営を図るため、学校給食による食育の推進と調理施設・設備のドライ化などの改善を行います。  
調理業務の民間委託については、平成 24 年 4 月から委託を実施する対象校の検討・決定を行うとともに、平成 19 年度に委託を開始した 4 校が 5 年を経過するため、平成 24 年度以降の委託業者について見直しを行います。また、委託実施校ごとに設置している「学校給食運営協議会」において、課題の把握と改善に向けた検討を行います。  
(目標指標：給食調理業務について、平成 24 年度から新たに 1 校での委託を検討・決定し、委託校を計 9 校とします。)
- 11 教育支援プラン 2022 (仮称) の策定 (学務課) (「施政方針」掲載事業)  
現行の教育支援プラン (特別支援教育推進計画) の考え方を基礎に、国等の動向も踏まえ教育支援プラン 2022 (仮称) を策定します。策定にあたっては、教育ビジョン 2022 (仮称) との整合を図り、ビジョンに位置付けた理念や基本的な考え方に基づく具体的な実行計画となるよう策定を進めるとともに、教育支援推進委員会での検討や市民参加による効果的な策定を進めます。  
(目標指標：第 4 次基本計画及び教育ビジョン 2022 (仮称) の策定との整合を図るとともに、多様な市民参加により、教育支援プラン 2022 (仮称) を策定します。)